

・MERS 患者数がさらに増加

サウジアラビアでは MERS コロナウイルスの患者が増加を続けています。9 月末までに累積患者数は 108 人(うち 47 人死亡)となり、この 1 か月間で 26 人の増加になっています(米国 CDC-MERS HP 2013-9-26)。全世界では累積患者数が 130 人に達しました。

WHO は 9 月末に第 3 回専門家会議を開催し、現在の MERS の流行状況について分析を行いました。その結果、MERS の患者は中東では増加しているものの、それ以外の地域には拡大しておらず、現時点で公衆衛生上の緊急事態ではないとのコメントを発表しました(WHO Global Alert and Response 2013-9-25)。ただし、10 月からサウジアラビアでは大巡礼が行われるため、厳重な監視が必要との見解を示しています。なお、MERS の感染経路についてはラクダとの接触が疑われており、エジプトでの調査ではラクダの 90%以上に MERS ウイルスの抗体が検出されたとの結果も発表されています(Eurosurveillance 2013-9-5)。

・鳥インフルエンザの流行状況

中国では 9 月も鳥インフルエンザ(H7N9)の患者発生はみられていません。しかし、今後、気温の低下とともに流行が再燃することが危惧されています。上海周辺の市場では生きた家禽の販売が再開されていますが、現地に滞在中はこうした場所にできるだけ立ち入らないようにしましょう。

鳥インフルエンザ(H5N1)に関しては 2013 年に 27 人の患者が確認されています(WHO Global Alert and Response 2013-8-29)。このうち 18 人が死亡しており、依然として高い致死率になっています。国別ではカンボジアが 17 人と最も多く、ほとんどが小児の患者です。

・アジアでのデング熱流行

9 月になり、東南アジアではフィリピン、シンガポール、ベトナムでデング熱患者が増加中です。シンガポールでは今年 1 万 5000 人の患者が確認されており、これは昨年に比べて 5 倍の数となっています(WHO Western Pacific Region 2013-9-18)。フィリピンでは患者数が 11 万人に達しており、このうち 7900 人はマニラ周辺での発生です(米国 CDC-Dengue Map 2013-9-24)。中国でも今年南部の雲南省でデング熱の患者が増加しており、9 月末までに 830 人の患者が発生した模様です(米国 CDC-Dengue Map 2013-9-11)。雲南省はベトナムやラオスと国境を接しており、隣国での流行が拡大したものと考えられています。

インドでもデング熱の流行が拡大しています。患者の発生は南部のケーララ州やカルナータカ州、東部のオリッサ州などで多く、デリーでも9月末までに1300人以上の患者が確認されました(米国CDC-Dengue Map 2013-9-7,21,23)。

アジア各地では10月も雨期が続くため、現地滞在中は蚊に刺されない対策をとるように心がけてください。なお、日本に帰国後、デング熱を発症した患者は今年1月から9月中旬までに161人となり、この1か月間で30人以上増加しています(国立感染症研究所 <http://www0.nih.go.jp/vir1/NVL/dengue.htm>)。

・カンボジアからの帰国者にパラチフス患者が増加

パラチフスは飲食物からかかる感染症で、日本国内で確認される患者の多くは海外からの輸入例です。2013年は8月末までに36人のパラチフス患者が確認されていますが、このうち15人がカンボジアからの帰国者であることが判明しました(感染症発生動向調査週報 2013-9-24)。昨年まではインドなど南アジアからの帰国者の感染例が大多数で、カンボジアでの感染例はほとんどみられませんでした。なお、ヨーロッパでも今年はカンボジアからの帰国者にパラチフスの患者が多発しており、8月までに34人の患者が確認されました(ECDC 2013-9-5)。

このように今年はカンボジアでパラチフスに感染するリスクが高まっており、現地に滞在する際は飲食物について十分な注意が必要です。なお、腸チフスワクチンの接種はパラチフスの予防には効果がありません。